

本審査基準は重要な形質を定める最新の告示を反映しておりません。

出願等にあたっては、最新の重要な形質をご確認ください。(以下 HP の植物区分ごとの特性表参照。

→https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hinshu/info/sinsa_kijun_jp.html)

なお、それぞれの重要な形質に対する定義等は変更されております。

センチピードグラス種審査基準

1 基準の対象

この審査基準は、イネ科 (Graminea) のムカデシバ属のセンチピードグラス種 (*Eremochloa ophiuroides* (Munro) Hack.) の全ての種に適用する。

2 特性検定のための栽培試験方法

(1) 個体植区

① 栽植密度：200 cm × 200 cm

② 供試個体数及び反復数

イ 種子繁殖性品種の場合

1区 20個体 3反復 合計 60個体

ロ 栄養繁殖性品種の場合

1区 5個体 3反復 合計 15個体

(ただし、イ、ロのいずれも周辺に2個体の番外区を設けること。)

③ 施肥量：g/m² 炭酸苦土石灰 50～100g 窒素・カリ各 5 g

追肥として窒素・カリ各 4 g 施用

④ 試験年数：春播き（5月上中旬）の場合は播種年及び翌年の2年間、秋播きの場合は播種翌々年までの3年間

(2) 密植又は密播区

① 栽植密度

イ 種子繁殖性品種の場合

播種量（5 g/m² 春播き）

ロ 栄養繁殖性品種の場合

15 cm × 15 cm

② 1区面積と反復数：1区 2 m² × 3反復

③ 施肥量：個体植区と同じ

④ 試験年数：個体植区と同じ

2. 特性審査基準
(1) 特性調査基準

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
草型	1.草型	主要な葉が地表と作る角度の大小	観察	極直立 直立 中間 ほふく 極ほふく	1 3 5 7 9		
茎の形状	2.出穂茎の太さ	出穂期における出穂茎の直径	測定 0.1 mm 単位	極細 細 中 太 極太	1 3 5 7 8	普通種（赤軸）	
	3.出穂茎の長さ	出穂期における地際より穂の基部までの長さ	測定 cm 単位	極短 短 中 長 極長	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
ほふく茎の形状	4.ほふく茎の密度	定着年の秋における単位面積当たりの地上ほふく茎の長さ	観察 又は 測定	極疎 疎 中 密 極密	1 3 5 6 7 9	普通種（赤軸）	
	5.ほふく茎の太さ	ほふく茎の先端より4～5節間の直径	観察 又は 測定 0.1 mm 単位	極細 細 中 太 極太	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
	6.ほふく茎の長さ	最長のほふく茎の長さ 1区画3本 (個体植区))	測定 cm 単位	極短 短 中 長 極長	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
葉の形状	7.葉長	初夏における成葉の葉身の長さ	測定	極短 短 中 長 極長	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
	8.葉幅	初夏における成葉の葉身の最大幅	観察 又は 測定	極狭 狭 中 長 極広	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
	9.葉色	初夏における葉身の緑度	観察	極淡 淡 中 濃 極濃	1 3 5 7 9		
穂の形状	10.穂長	穂先より穂の基部までの長さ	測定	極短 短 中 長 極長	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
穂の形 状	11.穂の色	えいの色	観察	極 淡 淡 中 中 濃 極 濃	1 3 5 7 9		
	12.小穂の長さ	小穂の長径	観察 又は 測定 0.1 mm 単 位	極 短 短 中 中 長 極 長	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	13.小穂の幅	小穂の幅	観察 又は 測定 0.1 mm 単 位	極 細 細 中 中 太 極 太	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
	14.小穂数	1 穂に着生する小 穂の数	計数	極 少 少 中 中 多 極 多	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
種子の 形状	15.脱えい生	脱えいの難易	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9		
	16.種子重	1,000 粒の重さ	測定 mg 単 位	極 軽 軽 中 中 重 極 重	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	
初期生 育の良 否	17.初期生育	播種又は植付後の 生育の良否	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9		
草勢	18.春の草勢	早春の草量の多少	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9		
	19.秋の草勢	初秋の草量の多少	観察	極 不良 不 中 中 良 極 良	1 3 5 7 9	普通種 (赤軸)	

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階級	標準品種	備 考
出穂期	20.出穂始	出穂を開始した月 日	観察	極 早 早 中 晩 極 晩	1 3 5 7 9		
出穂性	21.春秋の出穂 の有無	春及び秋に出穂す るかしないか	観察	春も秋も出 穂しない 春のみ出穂 秋のみ出穂 春も秋も出 穂	1 2 3 4		
	22.穂数	春及び秋の出穂盛面 期における単位 積当りの穂数	観察 又は 測定	極 少 少 中 多 極 多	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
再生性	23.再生の良否	刈取後の成長	観察	極不良 不 良 中 良 極 良	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
生育期 間	24.緑化の早晩	緑化開始月日	観察	極 早 早 中 晩 極 晩	1 3 5 7 9		
	25.紅葉の早晩	秋の葉身の変色開 始月日	観察	極 早 早 中 晩 紅葉せず	1 3 5 7 9		
越冬性	26.越冬の良否	寒冷地において越 冬中の枯死率、早 春の再生力、草勢 などの観察により 総合的に評価す る。	観察	極不良 不 良 中 良 極 良	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
環境耐 性	27.耐陰性	寡日照条件におけ る生長量の多少	観察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9		
	28.耐干性	乾燥条件における 生長量の多少	観察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9		

重要な 形質	形 質	定 義		状 態 又 は 区 分	階 級	標 準 品 種	備 考
環境耐 性	29.耐塩性	含塩土壌における 生長量の多少	観察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9	普通種（赤軸）	
耐踏圧 性	30.耐踏圧性	踏圧を加えた後の 生育の良否	観察	極 弱 弱 中 強 極 強	1 3 5 7 9		